

乳児期における社会的学習

誰から、どのように学ぶのか

日時：2018年6月21日（木）

18時～19時半

会場：新潟大学五十嵐キャンパス

中央図書館ライブラリーホール

演者：奥村 優子 先生

（NTT コミュニケーション
科学基礎研究所・研究員）

主催：新潟大学人文学部

「ヒト認知系の総合的研究」プロジェクト

共催：新潟大学人文社会科学系

「間主観的感性論研究推進センター」

*** 事前登録不要**

*** どなたでもご参加頂けます**



The silhouettes were supplied by
© Silhouette Design <http://kage-design.com> 

乳児を取り巻く環境は、情報に満ちあふれた複雑な世界です。にもかかわらず、乳児は驚くべき速さで世界の仕組みを学習します。本講演では、こうした情報獲得の基盤となる社会的学習に着目し、乳児が誰から、どのように学習しているのかを明らかにする研究を紹介します。具体的には、乳児の学習の情報源としてどのようなエージェントが適切なのか、そして、コミュニケーションは学習にどのような影響を与えるのかを検証した一連の研究について紹介します。また、発達早期の社会的学習の基盤が、乳児と養育者の循環的相互作用を介して、どのように生起、維持、形成されるかについても議論します。